



食の未来を考える連続講座

遺伝子組み換え食品に続いてゲノム編集食品が登場し、昆虫食や培養肉に代表されるフードテックがもてはやされています。いずれも世界の食料問題や気候変動問題の解決に寄与するなど喧伝されていますが、果たして本当でしょうか。遺伝子を操作したり、工業製品のように生産したり、細胞を培養して製造する食品を“食べもの”と呼ぶことに違和感はありませんか。食べものは食べる人の身体をつくるだけでなく、未来につながる大切なものです。食の世界が大きく変わろうとしている今、私たちは改めて「食べものとは何なのか、どうあるべきか」という基本的な問題に立ち返り、食の未来について考えます。

第1回

2023年

11月17日(金)

午後2時～4時

**昆虫が地球を救う？
～フードテックにひそむ危険～**

講師・天笠啓祐

(ジャーナリスト、日消連顧問)

第2回

12月15日(金)

午後2時～4時

**本物の食べものとは
～スローフードはいま～**

講師・島村菜津

(ノンフィクション作家)

第3回

2024年

1月19日(金)

午後2時～4時

**お米があぶない
～放射線育種って？～**

講師・印鑰智哉

(OKシードプロジェクト事務局長)

- 参加費：各回500円（日本消費者連盟会員と遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン個人会員は無料）事前振込みをお願いします。
- 参加方法：オンラインのみ
- 申込み締切：各回開催日の2日前
- ★参加申込みフォーム→<https://forms.gle/TtU9TQEHYVLnrnL76> または下のQRコードから。
詳細は主催者ホームページをご覧ください。

主催：日本消費者連盟・食の安全部会

遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン



お問合せ先

日本消費者連盟（〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207）

TEL：03-5155-4765（月・水・金）／メール：online@nishoren.org

ホームページ：https://nishoren.net/